

# 道徳ビデオ資料 「生きるってなんだろう」

指導案 主題（ねらい）：[なぜ道徳を学ぶのか]

この作品は、4つの視点、22の内容項目との特定の関連を意識するのではなく、「人間とは」、「人間としての生き方とは」という、道徳を学んでいくにあたっての基本的な問題を考えていくきっかけを作ることを目的とする。

## 【展開例】

	展開の概要(発問)	指導上の留意点
導入	<p>「人間として生きる」ことについて考える、という授業のテーマを発表する。</p> <p>「生きるってなんだろう」というビデオから、『人間』または、『人間として生きること』について考えてみよう。</p>	<p>事前に「人間とは何か」、という話し合いをしてもよいが、ビデオの内容と重複する場合もある為、できれば授業の基本的なテーマについて触れるにとどめた方がよい。</p>
展開	<p>ビデオを見る。(約13分)</p>	<p>事前に見ていても、教師も生徒と共に視聴する。</p>
	<p>「生きるって何だろう」を見ての感想を発表し合う。</p> <p>このビデオを見て、一番印象に残ったことを発表して下さい。</p> <p>それぞれの場面が考えさせてくれる「人間」の姿はどんなものかを話し合ってみる。(または文章にまとめる。)</p>	<p>このビデオを構成するすべての分野が感想として出てくると思われるが、出てこなかったところは省く。</p> <p>人間の育ててきた文化、文明。 (人間の持つ力、素晴らしさ)</p> <p>戦争、自然破壊などをする人間。 (人間の弱さ、醜さ)</p> <p>ヒトから人間への進化。 (人間としての特徴)</p> <p>原始時代の人間の生活。(集団生活)</p> <p>いちごの実験。(協力)</p>
終末	<p>授業の感想をまとめる。</p> <p>このビデオのテーマである「生きるってなんだろう」の自分なりの感想、答えを書いてみよう。</p>	<p>私たちには、これから生きていく上で、「人間として生きていくことについて考えること」が大切であることを考えさせる。</p> <p>ひとつの答えを求めたり、定義付けたりはせずに、いろいろな意見が出たこと自体を尊重し、人それぞれいろいろな考えを持っていることを認識できたことを評価する。</p>

ビデオの視聴とその後の話し合いを通じて、道徳の授業が、「人間」や「人間としての生き方」を考えていく時間であるということを感じさせる。

ビデオを視聴した後の時間は展開の段階まででとどめ、終末の段階を翌週の授業に行うと、時間にも余裕ができ、また生徒の考えを一層深めることができると思われる。また、道徳の時間の目的に対する認識も深めることができる。

# 「生きるってなんだろう」再現プリント

[ 画 面 ]	[ ナレーション ]
<p>地球の姿</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 宇宙空間に浮かぶ地球。</li></ul> <p>人々が生きている様々な姿。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 会社で、工場現場で、仕事を する人々の姿、また、スポーツや 芸術などにうちこむ人々、公園 や海岸で家族や友人と余暇を楽 しむ人々の姿と表情</li></ul> <p>現代の社会と人間の文化。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 多くの芸術家達によって作られ てきた建築や絵画、彫刻作品等 現代に残る文化遺産の数々。</li><li>・ 人々が行き交う町に立ち並ぶ高 層ビル、高速道路、新幹線</li></ul> <p>人間のもつ別の一面。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 戦争。</li><li>・ 森林の大量伐採。</li><li>・ 川や海の汚染。</li><li>・ 汚職や自殺などの記事。</li><li>・ 駅前の放置自転車。(その結果 迷惑している様子も)</li><li>・ 空き缶の投げ捨て。 街を行き交う人の姿。</li></ul> <p>人類の進化の中で育まれてきた もの。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 猿がサバンナに出る。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 直立 2 足歩行の様子。</li></ul>	<p>宇宙空間に浮かぶ青い小さな星、地球。 この星に数十億の人間という動物が生きています。</p> <p>私たちは、大勢で大きな社会を作っています。 人間が生きていく姿はさまざまです。それぞれに仕事をし、家族を持ち、余暇を楽しみ、一 生を幸福に暮らそうと努力をしています。 人間が生きる姿、そこには動物的な本能や自然の生命力のほかに、目的を持ち、価値を求め て行動する姿がうかがえます。 ところで、私達は、「人間として生きる」ことについて、どれだけ考えたことがあるでしょ う。今日は、その人間の一人として、「人間として生きるって何なのか」を考えてみましょ う。ここではまず、人間が積み重ねてきた様々な事からについてちょっと振り返ってみましょ う。</p> <p>荘厳な建築物、そして、美や理想を追求して創作された絵画や彫刻作品の数々。今日に残る 文化遺産や芸術作品に、私たちは時代を超えた感動を味わうことができます。 人間のもつ、愛や美に対するかわることのない価値観が、そこから伺えます。</p> <p>先人たちの知恵を受け継ぎ、築き上げられた今日の社会。 人間は、互いに知恵と力を出し合い、さまざまな文化や文明を生み出してきたのです。</p> <p>しかし、人間は同時にさまざまな顔を持っています。優れた知恵と力を持ち、素晴らしい文化 を築く一方で、その同じ人間が行ってきたことの数々。 森林の伐採をはじめとする自然破壊。 川や海の汚染。 新聞紙上をにぎわすさまざまな事件。 私たちの身の回りで繰り返されるこんな光景。悪いと分かっている、ついやってしまう人 間の心。 私たち一人一人、強さと弱さ、素晴らしさと醜さの中で生きている人間なのです。 人間って、生きるって何でしょう。ここでちょっと視点を変えて、人間が人間としての道を 歩き始めたころのことを、振り返ってみましょう。</p> <p>今からおよそ 400 万年より前、それまで森で暮らしていた猿達の中に、サバンナに踏み出した 者たちがいました。 鋭い牙や爪を持たなかった猿達は、大自然の中で生きていくため、石や棒を道具として使う ことを覚え、人間としての道のりを歩み始めます。 そのうち 2 本足で直立して歩くようになり、手を自由に使うことで脳が発達していきます。</p>

[ 画 面 ]	[ ナレーション ]
<ul style="list-style-type: none"> <li>・石を石器として加工している様子。</li> <li>・猟をする様子。</li> <li>・男たちは獲物を持ち帰り、女たちは木の実を集め、互いに仕事を分担して生活している様子。</li> <li>・火を使った猟の様子。</li> <li>・火を囲んでの食事、語り合いの様子。</li> <li>・死者を弔う儀式の様子。</li> <li>・洞窟に絵を描く様子。</li> <li>・協力し合って猟をする様子。</li> <li>・集団で幸せそうに暮らす様子。</li> </ul>	<p>そして徐々に、物を道具として使うだけでなく、自ら道具を作り出すことも出来るようになりました。</p> <p>いつごろからか、その道具を利用して、互いに協力し合い、盛んに猟をするようになったのです。</p> <p>そして、この猟は、体力のある男が受け持つようになり、猟に向かない女たちは木の実や根を集めたりするなど、彼らの生活の中に、それぞれの役割というものが生まれてきたのです。</p> <p>時代は下り、人間はいつしか火を使うことを覚えました。火を利用し、今までよりも安全に大掛かりな猟ができるようになったのです。</p> <p>また食物を調理し、寒さや外敵から身を守り、厳しい環境にも耐えていきます。さらに、火を囲んでその日の猟を語りあったことでしょうか。そうした中から言葉が育ち、心の交流を一層深めていったのでしょうか。</p> <p>死者を丁寧に埋葬し、遺体の回りにそっと花を捧げる人間たち。人の死を悼み、親しい者との永遠の別れを悲しむ彼らには、生活手段の進歩ばかりではなく、仲間どうして悲しみや辛さを分かちあうことの出来る、強い群で結ばれた人間の姿があります。</p> <p>また、洞窟に絵を描き、獲物の繁殖や猟の安全などを願う彼ら。</p> <p>猟のテクニックもさらに進歩し、集団で大掛かりな猟をするようになりました。</p> <p>人間は長い年月を費やし、いったい何を育ててきたのでしょうか。...大自然の中で、人間は無力です。しかし、その中で生き抜くために、肩を寄せ合い、力を出し合って生活していくという知恵を身につけてきたのです。</p>
<p>中学生の姿と原始生活。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校風景、授業風景、クラブ活動などと原始生活の人間の姿をダブらせて。</li> </ul>	<p>私たちは、社会で、そして学校で、集団生活を営んでいます。</p> <p>大自然と直接向かい合うことの少なくなっ現代の社会、私たちの遠い祖先たちの生き方や、身につけた知恵は、私たちには意味のないものなのでしょうか。それとも、何か共感するものがあるのでしょうか。</p>
<p>フォークの実験</p>	<p>ここに1メートルのフォークがあります。このフォークを使って、中学生の皆さんに苺を食べてもらおうと思います。</p> <p>ここではひとつのルールを設けました。苺を食べる時は、フォークの柄の根元しか持つてはいけないこと、また決してフォークから手を離してはいけないことというルールです。</p> <p>この中学生たちの行動は、皆さんにはどんなふうに映ったでしょう。</p>
<p>エピローグ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の表情のアップ。</li> <li>・地球の姿</li> </ul>	<p>それぞれに異なる考え方や価値観をもった人々が集まって形成される社会、私たち一人一人が、その中で人間として生きているのです。</p> <p>銀河系の片隅の、青い小さな星に、たくさんの人間という動物が暮らしています。</p>

# 道徳ビデオ資料 [ ナマステ！ ダンプスの子供たち ]

指導案( ) 主題(ねらい) : [ 生きがい ] 1 - (4)

## 【展開例】

		展 開 の 大 要	指 導 上 の 留 意 点
導 入	雰囲気作り	南アジアの地図を指示する。ネパールの位置を確かめる。 今日は、おのネパールのある村についてのビデオを見てもらいます。 ・どんな国でしょうか。 ・どんな生活をしているのでしょうか。	内容にかかわることは、言わないようにする。
展 開		ビデオを見る(約17分)	事前に見ていても、教師も生徒と共に視聴する。
	感じる	「ナマステ！ダンプスの子供たち」を見ての感想を発表し合う。 ダンプスの子供たちを見て、最も印象に残ったことについて発表して下さい。	価値を誘導することは言わず、生徒自身が感じたままを発表させる。 (または、書かせる。)
	考える	ダンプスの村の子供たちの生活について考える。 この村の子供たちの生活について、どう思いますか。 ・自分たちの生活とどう違いましたか。 ・みんな明るく、元気に、のびのびと生活していましたね。	ダンプスの村の子供たちが生きがいを持ち、日々を充実させながら生きている姿を通して、自分の生きがい、目標、夢について考えさせる。
	深める	ダンプスの村の子供たちの生き方、考え方について考える。 ダンプスの村の子供たちの生き方、考え方からどんなことを学びましたか。 子供たちが物質的な不便さがあっても、たくましく生きているのはどうしてでしょう。	ネパールの子供たちの生活と自分たちの生活は、本質的なところでは同じであることに気づかせ、人間として大切なことは何かを深く考えさせる。
終 末	自分のものにする	自分自身の生き方について考える。 ダンプスの子供たちもみんなも、生活する、生きるということでは本質的に同じなはず、しかしどこが違うのでしょうか。  学んだことを自分の生活に生かす感想を書く。	自分にとっての生きがいを考えさせ、生きがいを持つことによって、人はその置かれた環境にかかわらず、たくましく、明るく生きていけることを確信させる。

指導案 ( ) 主題 (ねらい) : [働く] 4 - (4)・[人間愛] 2 - (2)

【展開例】

展開の概要	指導上の留意点
～ は「生きがい」に同じ。	
ダンプスの子供たちが一生懸命働いたり、勉強したりしているのはどうしてでしょう。 ・家の手伝いを良くしていましたね。 ・みんな明るく元気に働いていましたね。	働くことの目的が今の自分たちと違うことに気づかせる。  ひとのためにつくすことが自分を生かす道であり、それを生きがいにしている姿に気づかせる。
ダンプスの子供たちが医者になりたいと言うのは、どんな心からなのでしょう。	人が人のために働くという人間尊重の心が息づいていることに気づかせる。
環境や文化は違うけれど、ダンプスの子供たちの働く心、勉強する心をいまの自分と比べ感想を書いて見ましよう。	

展開例補足 (指導案 ( ) ・ ( ) 共通)

具体的な例や場面をあげさせ、それについての自分の考えを、述べさせる。  
表面的なきれいごとの意見でなく、生活に根ざした考えを引き出すようにする。  
自分は何をすべきか、何ができるのか、というところまで深く考えさせる。

指導案の時間配分参考例

	基本展開	パターン	パターン
導入	5分	5分	5分
映像	20分	20分	20分
感想の発表	10分	15分	10分
発問	8分		8分
発問	7分		
考えをまとめる		10分	7分

2時間計画の授業展開 (1～2週間のインターバル)

1時間目		資料準備	2時間目	
導入	5分	生徒の感想文を、価値観によっていくつかのグループに分け、2時間目の資料とする。代表的な価値観のものを1ページ程度にまとめ次の授業で配る。	再現プリントまたは映像	5分
映像	20分		生徒の感想文を読む	10分
感想の発表	10分		発問・発問	20分
考えをまとめる	15分		考えをまとめる	15分

用語解説

ネパール：面積は14万800km<sup>2</sup>で北海道の約2倍弱。人口は1,840万人で東京都の約1.5倍。労働人口の90%が農場で、トウモロコシ、コメを産出。主要言語はネパール語。宗教は国民の8～9割がヒンズー教。立憲君主制。  
ナマステ：ヒンズー語で「こんにちわ」の意味。      トレッキング・ルート：山歩きの道、登山道。  
映像にでてくる山の名前(下図参照)。



[ 画 面 ]	[ ナレーション ]
<ul style="list-style-type: none"> <li>・石を石器として加工している様子。</li> <li>・猟をする様子。</li> <li>・男たちは獲物を持ち帰り、女たちは木の実を集め、互いに仕事を分担して生活している様子。</li> <li>・火を使った猟の様子。</li> <li>・火を囲んでの食事、語り合いの様子。</li> <li>・死者を弔う儀式の様子。</li> <li>・洞窟に絵を描く様子。</li> <li>・協力し合って猟をする様子。</li> <li>・集団で幸せそうに暮らす様子。</li> </ul>	<p>そして徐々に、物を道具として使うだけでなく、自ら道具を作り出すことも出来るようになりました。</p> <p>いつごろからか、その道具を利用して、互いに協力し合い、盛んに猟をするようになったのです。</p> <p>そして、この猟は、体力のある男が受け持つようになり、猟に向かない女たちは木の実や根を集めたりするなど、彼らの生活の中に、それぞれの役割というものが生まれてきたのです。</p> <p>時代は下り、人間はいつしか火を使うことを覚えました。火を利用し、今までよりも安全に大掛かりな猟ができるようになったのです。</p> <p>また食物を調理し、寒さや外敵から身を守り、厳しい環境にも耐えています。さらに、火を囲んでその日の猟を語りあったことでしょうか。そうした中から言葉が育ち、心の交流を一層深めていったのでしょうか。</p> <p>死者を丁寧に埋葬し、遺体の回りにそっと花を捧げる人間たち。人の死を悼み、親しい者との永遠の別れを悲しむ彼らには、生活手段の進歩ばかりではなく、仲間どうして悲しみや辛さを分かちあうことの出来る、強い群で結ばれた人間の姿があります。</p> <p>また、洞窟に絵を描き、獲物の繁殖や猟の安全などを願う彼ら。</p> <p>猟のテクニックもさらに進歩し、集団で大掛かりな猟をするようになりました。</p> <p>人間は長い年月を費やし、いったい何を育ててきたのでしょうか。...大自然の中で、人間は無力です。しかし、その中で生き抜くために、肩を寄せ合い、力を出し合って生活していくという知恵を身につけてきたのです。</p>
<p>中学生の姿と原始生活。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校風景、授業風景、クラブ活動などと原始生活の人間の姿をダブらせて。</li> </ul>	<p>私たちは、社会で、そして学校で、集団生活を営んでいます。</p> <p>大自然と直接向かい合うことの少なくなっ現代の社会、私たちの遠い祖先たちの生き方や、身につけた知恵は、私たちには意味のないものなのでしょうか。それとも、何か共感するものがあるのでしょうか。</p>
<p>フォークの実験</p>	<p>ここに1メートルのフォークがあります。このフォークを使って、中学生の皆さんに苺を食べてもらおうと思います。</p> <p>ここではひとつのルールを設けました。苺を食べる時は、フォークの柄の根元しか持つてはいけないこと、また決してフォークから手を離してはいけないことというルールです。</p> <p>この中学生たちの行動は、皆さんにはどんなふうに映ったでしょう。</p>
<p>エピローグ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の表情のアップ。</li> <li>・地球の姿</li> </ul>	<p>それぞれに異なる考え方や価値観をもった人々が集まって形成される社会、私たち一人一人が、その中で人間として生きているのです。</p> <p>銀河系の片隅の、青い小さな星に、たくさんの人間という動物が暮らしています。</p>

# 道徳ビデオ資料 「チーコの奮戦記」

指導案( ) 主題(ねらい) : [人間愛] 1 - (4)

## 【展開例】

		展開の大要(発問)	指導上の留意点
導入	雰囲気作り	ボランティア活動について知っていることを発表し合う。 海外、あるいは国内でどのようなボランティア活動が行われているでしょう。 自分で何かボランティア活動を行ったことがありますか。また、その時の気持ちはどうだったでしょうか。	身近な経験や知識を発表させる。
展開		ビデオを見る(約19分)	事前に見ていても、教師も生徒と共に視聴する。
	感じる	「チーコの奮戦記」を見ての感想を発表し合う。 今のビデオを見て、最も印象に残ったことを発表して下さい。	生徒が感じたままを発表させる。 その中から次の発問につなげる。 感想から生徒の課題意識を掘り起こすようにする。
	考える・深める	チーコのものの見方や考え方について発表し合う。また、チーコの人間としての生き方を問う。 チーコは学生時代のアフリカ旅行がきっかけでボランティア活動を思い立つたといっていました。それはどのような気持ちや考え方からでしょう。 また、チーコは何故この仕事を続けているのでしょうか。 スラムの人達に、チーコは親しまれ信頼されていますが、それは何故でしょう。チーコのどのような気持ちや行動がそうさせるのでしょうか。	生徒自身のボランティアに対する考え方、感じ方を問う。 他人の困っている姿を見過ごしにすることができず、自分でも何か行動せずにいらなかったチーコの姿と行動について考えさせ、そこにどのような気持ちがあったのかを振り返らせる。 チーコの「他人のためにしているのではない」という言葉について考えさせる。同じ人間として接しているのであり、施しを与えているのではないということを押さえる。
終末	自分のものにする	自分自身の生き方について考える。 チーコの生き方について話し合う中で感じたこと、考えたことはどんなことですか。 相手のことを考え、同じ人間としてその人のために何かした経験はありますか。また逆にやろうとしたけれどもできなかったこと、そしてその気持ちも発表してみよう。	「同じ人間として、共に生きる」という人間愛の基本、互いに信頼し合って生きることの素晴らしさを感じさせる。

指導案 ( ) 主題 (ねらい) : [ 自主自律 ] 1 - (3)・ [ 強い意志 ] 1 - (2)

【展開例】

		展開の大要	発問の視点
展 開		～ は「人間愛」に同じ。	
	考える・深める	<p>チーコの行動について考える。</p> <p>チーコは、何故、またどのような気持ちでボランティアの活動を実行したのだろう。</p> <p>チーコが何不自由のない日本での生活から離れて、厳しい生活条件や言葉の壁を克服しながら、活動を続けていられるのは、どのような気持ちや考えからだろう。</p> <p>チーコは、自分自身が「強くなったと思う」と言っていたが、彼女は何故、そしてどのように強くなったのだろう。また、その言葉からチーコのどのような気持ちを感じられるだろう。</p>	<p>チーコが、ボランティアについて、思い立つだけでなく、すぐ行動に移した時の気持ちや考え方について考えさせる。</p> <p>誰に頼まれたのでもなく、自分自身で決め、行動に移したことを押える。</p> <p>どんな苦労があっても、自分自身に負けないで頑張っている強い心があることに気づかせる。</p> <p>自分で決めたことをやり抜く姿と、それをなし得た時の満足感について、チーコの言葉や表情から感じさせる。</p>
終 末	自分のものにする	<p>自分自身の生き方について考える。</p> <p>自分自身の考えで何かを決め、それを実行に移した経験はないだろうか。また、それをやりとげた経験はないだろうか。そして、その時の気持ちはどんなだったろう。</p>	<p>自分にも、どんな身近なことであれ、自分自身で決め、困難を克服して頑張った経験があるのだということを振り返らせ、自分とチーコがかけ離れた存在ではないことを確認させる。そしてものごとを自分自身で決めることの意義を感得させ、また、今後も困難に負けないでやり抜こうとする気持ちを膨らませる。</p>

冒頭のテロップ

この作品は、チーコと呼ばれる、ある平凡な日本人女性が、海外ボランティアの一員として、自らスラムの住人となって、人々の生活の改善や、子供たちの教育問題などに取り組み、日々活動する姿を追いかけたドキュメンタリーである

世界では、数多くの人々が、苦しみ、傷ついている。そしてその事を知った時、チーコは見て見ぬ振りができなかった。日本での何不自由のない生活を捨て、チーコは行動した。

「自分にも何かができるはずだ。」

悩みや挫折を繰り返しながらも、最後までやりとげようと努力した。

そして彼女は何かをつかんだ。

それが一体なんだったのか、作品を通して追いかけてみよう。

ラストのテロップ

バンコクに来て3年余り、「強くなった。」とチーコは言った。

さまざまな人達と接し、多くのことを教えられた。そして、人を愛し、人を信頼する心はますます膨らんできた。

他人のためにしてきたつもりが、逆に多くのことを得て、成長している自分に気がついた。

心に決めた事をやり抜こうと、今日も頑張るチーコである。

# 「チーコの奮戦記」再現プリント

[ 画 面 ]	[ 解 説 ]
<p>プロローグ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンコクの高層ビル群</li> <li>・スラムと住人の生活</li> <li>・スラムを歩くチーコ</li> <li>・タイ東部の農村</li> </ul>	<p>タイの首都バンコク、高層ビルが立ち並ぶ大都会、そしてその脇に広がる人口密集コミュニティー、スラム。今そこに、チーコと呼ばれる日本人女性が働いている。人口750万人のバンコクには1700か所以上のスラムがあり、150万人もの方が暮らしている。スラムの住人の大半は、職を求めて農村部から出てきた人々であり、その人口も年々増加している。しかし都会に出て仕事は少なく、人々はその日暮らしの厳しい生活を強いられている。</p>
<p>スラムのJVCセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカの難民</li> <li>・働くチーコ</li> </ul>	<p>JVCとは、日本の民間ボランティア団体である日本国際ボランティアセンターの略称であり、チーコの職場である。平凡な学生だったチーコは、旅行先のアフリカで見た難民の姿に衝撃を受け、自分も何かをしなければという気持ちにかられ、そして卒業と同時に早速行動に移したのだ。</p>
<p>スラムの生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの山で働く子供たち</li> <li>・子供たちの家庭</li> <li>・港湾労働者</li> <li>・賭け事に興じる人達</li> <li>・シンナーを吸う少年</li> <li>・地元の人達の打ち合わせ</li> </ul>	<p>チーコが見たバンコク。そこは大都会であると同時に、さまざまな社会問題を抱えていた。チーコが特に感じたことは、子供たちの教育の問題である。スラムには、貧しくて学校にも行けずにいる子供たちも多い。JVCでは奨学金システムを設けているが、お金を出せばかたずくという問題ではないということに、チーコは気がついた。子供たちを励まし、教育の大切さを理解してもらおうと、チーコは子供たちの家を訪ね歩いている。しかし、現実には生活、社会環境の悪さから、非行に走る少年も少なくないという。シンナーを吸う子供たちもいる。彼らは、それがどれ程健康を損ねるかということを知らない。住民の中にも、チーコ達の青少年教育活動に刺激され、自ら立ち上がろうとする者が出てきた。</p>
<p>スラムの人達とチーコ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民と語るチーコ</li> <li>・チーコの家</li> <li>・近所の人達とチーコ</li> </ul>	<p>住民たちと親しくつき合い、一緒になって問題の解決に取り組むチーコ、しかし、このようなコミュニケーションは、一朝一夕に出来あがったわけではない。特に、言葉の面では並々ならぬ勢が必要だったとチーコは言う。チーコの家はスラムの中の一部屋。ねずみやゴキブリには悩まされるが、近所の人達の素朴な暖かさに励まされるチーコである。</p>
<p>ボクシング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習に励む少年たち</li> </ul>	<p>青少年の非行防止に役立てばと始めたボクシングの練習。明るく練習に打ち込む子供たち、しかし、そこでもシンナーを手放せない子がいる。健康への害を説き、立ち直らせようと努力するJVCの現地スタッフ、ティン君。誘惑や危険が口を開ける町、スラム。しかし問題を環境のせいにしてよいのだろうか。誘惑に負けるのは一人一人の心の問題ではないだろうか、とチーコは考えている。</p>
<p>花売りの少女</p>	<p>スラムの中にも貧しさに負けず頑張る少女がいる。学校から帰ってからせっせと花束を作り、夜の町でそれを売って学費や生活費の足しにする少女。チーコも陰ながら応援している。</p>
<p>サッカー大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トロフィーを渡す青年達</li> </ul>	<p>日曜日のスラム、サッカー大会で準優勝をしたスラムの青年たちが、チーコにトロフィーを渡した。日頃のチーコの活動に対してのささやかな感謝のしるしだった。</p>
<p>現地スタッフの話</p>	<p>日本人のことはあまりよく思っていなかったが、チーコに出合って印象が変わった、と語る青年。</p>
<p>エピローグ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーコの話</li> <li>・スラムの情景</li> </ul>	<p>自分は、自分に必要だからこの活動を続けていられるのだ、と語るチーコ。そして「強くなった」という。自分で決めたことをやり抜くこと、そして、まわりの人達と力を合わせ、身近な出来事から一つ一つ取り組んでいくこと、それがチーコのボランティア精神だ。</p>

# 道徳ビデオ資料 「大地のめぐみ」

指導案 主題(ねらい) : [国際理解] 4-(9) 関連項目 : [思いやり] 2-(2) [生命尊重] 3-(2)

## 【展開例 (1)】

		展開の大要(発問)	指導上の留意点
導入	雰囲気を作る	<p>飢餓に対する一般的な認識を問う。 今全世界でどの位の人が飢餓に苦しんでいると思いますか。 飢餓は何故起こると思いますか。 飢餓の写真(例えばこのビデオのパッケージの写真)を示し、感想を問う。 この写真を見て何を感じますか。</p>	<p>飢餓問題に対するイメージを呼び起こす。</p>
		<p>ビデオを見る(約19分)</p>	<p>事前に見ていても、教師も生徒と共に視聴する。</p>
展開	感じる	<p>「大地のめぐみ」を見ての感想を発表し合う。 今のビデオを見て、印象に残ったことはどんなことですか。 今のビデオから、私たちが考えてみる必要があると思ったことはありますか。</p>	<p>生徒が感じたままを発表させ、その中から次の発問につなげる。  飢餓問題に関し、考えなければならない問題を確認させる。</p>
	考える	<p>世界の国々、特に飢餓問題が起こっている国々と、日本の食糧事情を比較して、問題点を考えてみる。 日本の豊かな食生活を支えているものは何だろう。 東南アジアの国では、何故食物の生産量が多いのに飢えに苦しむ人がいるのか、もう一度振り返って考えてみよう。 飢餓で苦しむ人々の気持ちになって、日本の私たちの食生活を考えてみよう。</p>	<p>飽食の時代といわれる日本の中であって、世界では、人間が生きていく上で最も基本的な「食」の問題が、厳しい現実として襲いかかっている地域があるという事実を目を向けさせ、考えさせる。 働いても食糧が得られず、飢餓に苦しむ人達の気持ちをとらえさせる。 また、そのような視点に立って、自分たちの食生活を振り返らせる。</p>
	深める	<p>飢餓問題、食糧問題の意味を考える。 世界中で食糧が平等に行きわたっていないのは何故だろう。 飢餓が起こる原因についてもう一度考えてみよう。 そして、自分の言葉で発表してみよう。 (または文章にまとめる。)</p>	<p>何故飢餓問題が起こるのか、偏見や同情の気持ちからではなく、現実の問題としてとらえさせ、考えさせる。</p>
終末	自分のものにする	<p>自分自身の生き方について考える。 私たちは、飢餓問題に対してどのような考え方をもち、また何をしたらよいのでしょうか。まず自分に来ること、そしてこれからしてみようと思っていることを考えて書いてみよう。</p>	<p>まず、身近なところから自分が心がけることを考えさせる。また、飢餓問題が決して他人事として片付けてよい問題ではないことを認識させる。</p>

: については、できれば翌週以降の時間も使って、図書室などで自分たちで調べさせるのもよい。

【展開例 (2)】

		展開の大要(発問)	指導上の留意点
導入	理解する	世界の「飢餓」の現状を事前に調べ、その実態を把握する。 世界の「飢餓」について、調べたこと、わかったこと、感じたこと、考えたことについて発表して下さい。	何不自由のない生活、その中に浸り切って何の疑問も感じない日々を送りがち。アフリカやアジアの飢餓や難民の人達の生きざまに触れる事によって意識の大きな転換を図る。
		ビデオを見る(約19分)	事前に見ていても、教師も生徒と共に視聴する。
展開	問題をつかむ	「大地のめぐみ」を見ての感想を発表し合う。 今のビデオを見て、我々が問題として考えたり、取り組んだりしていかなければならないことに、どんなことがありますか。	自分達の恵まれ過ぎた生活、対照的に、「非人間的」としかいいようのない飢えた人々の生活。国際的視野の覚醒をもたらす。 ・飢餓難民の悲惨な生活に驚き、それに触発されて自分たちの、安定し恵まれた生活に気がついた。 ・もし自分が難民の一人で、こんな悲惨な生活を強いられることを考えたら…、今の自分の幸せをかみしめている。 ・世界の中で、日本の置かれている状況は、色々な意味で重要である。その日本に生きる一人として、もっと真剣に髪け止め、身近なところで動き出さねばならない。
	つきつめる	世界の「飢餓」の問題を、自分たちの身近な問題とする。 世界の中の日本人として、「飢餓」について自分の問題として考えてみましょう。 ・世界の「飢餓」について、我々日本人が考え、果たすべき役割や責任には、どんなものがありますか。 ・その日本人の一人として、担うべき役割や責任に対し、私たち一人一人、どのように関わっていったらよいのでしょうか。	豊かさに浸る国と、貧困にあえぐ国々との断層。この現実を目を開き、狭い民族意識を克服し、世界全体の幸福を目指した地道な努力を、身近なところから実践しようとする糸口としての問題意識を喚起する。
	深める	ある新聞記者の体験について、心を寄り添わせる。 アフリカの体験を通して、新聞記者が最も強く感じたことというのは、どんなことだろうか。また、それについてどう思うか。飢餓が起こる原因についてもう一度考えてみよう。そして、自分の言葉で発表してみよう。(または文章にまとめる。)	発展途上の多くの地域で、病気や飢えに苦しむ人達が大勢いる。このような人々に対し、日本人として、人類愛の精神に基づき援助の手を差し伸べることが必要であり、また実際にそれが求められている。国際理解と人類愛の心を持って、世界の平和と人々の福祉に尽くす、などといってもきれいな事に終わってしまう傾向が強い。また、援助の中身も、金銭的、物質的なものになりがちである。人間として本当に大切なものが何であるかを考えさせる。
終末	自分のものにする	自分自身の生き方について考える。 私たちは、飢餓問題に対してどのような考え方をもち、また何をしたらよいのでしょうか。まず自分に出ること、そしてこれからしてみようと思っていることを考えて書いてみよう。	一人一人が人間としての生き方を心から考え、より多くの人々の幸福についての認識を深めることが肝要となる。より多くの人々の幸福に寄与する態度を身につけるには、自分の身近なところで、自分の事としてその生き方と結びつけて考え、実践していく必要がある。世界的視野にたつて、民族や国家が異なっても、どの国の人々も同じ人間として互いに尊重し、共に喜び苦しみを分かち合い、世界平和と人類の幸福の為に貢献していこうとする態度を、一人の人間の生き方の中に取り込んでいくということは素晴らしいことである。

# 「大地のめぐみ」再現プリント

[ 画 面 ]	[ 解 説 ]
<p>プロローグ ( 飢餓の現状 ) ・ 飢えた人々、子供たち</p> <p>・ 飢餓の南北地図</p>	<p>今、食べ物が余っている国と足りない国があります。でも、地球上に住む、世界五十数億の人々が健康な生活を維持するだけの食べ物が毎年とれているのです。それなのになぜ、食べ物が足りない国ができるのでしょうか。</p> <p>アジアやアフリカ、中南米の国々には、世界の人口の四分之三、三十数億の人達が生活していますが、これらの国々では、現在「子供の三人に一人が栄養失調」「毎年三百万人に近い子供が予防可能な病気で死亡」「百万人以上の児童が学校に行けない」など深刻な問題を抱えています。私たちは、同じ人間として、このような状況を見過ごしてよいのでしょうか。</p> <p>これは、地球規模で飢餓の状況を調査したイギリスのウイリー・プラント調査団の作った「食べられる国・北」と「食べられない国・南」を表した地図です。</p>
<p>飢餓の原因 ・ アフリカの飢えた子供 ・ ひび割れた大地</p>	<p>では、飢餓の原因について細かく考えてみましょう。まず、戦争などで国を追われ仕方なく農耕地を奪われてしまった場合、また、旱魃や洪水の結果借金がかさみ、大地主や北の大資本の会社に農耕地を売らなければならないような場合、北の大資本の会社が利益追求のために、発展途上国でできる作物や家畜を彼らの食べる分まで買い取ってしまった場合など</p>
<p>日本の食生活 ・ 豪華な食事をしている人々 ・ 残飯の山 ・ 東南アジアの幼稚園の給食風景</p>	<p>今、世界中で起こっている飢餓の問題は、私たちには無関係なのでしょうか。</p> <p>私たちが食べ残したものが、全世界でどのくらいになるかというと 70億ドル (約 9000億円) にもなるんです。この金額を「飢餓」で苦しんでいる人々のために使えば、少なくともアフリカで苦しんでいる子供たち全員を救うことができます。</p> <p>地球では、世界の人々が普通の生活をするために必要な量以上の食物が毎年採れています。そして、日本にはこんなに食物が余っているのに、世界の人々に食料は平等に行きわたっていません。なぜでしょうか...</p>
<p>食物が荷揚げされた港 ・ 輸入された食料が荷あげされる様子</p>	<p>私たちの住む日本は面積が狭く人口の多い国です。国内だけでは食物の生産では健康な生活を送るだけの食料は賄いきれていません。ですから、さまざまな輸入しているのです。ではどこから食料を輸入しているのでしょうか。アメリカやヨーロッパからも輸入されていますが、食べられない国、「南」の国からの輸入もあります。</p>
<p>ある発展途上国 ・ 町の風景 ・ 農村風景</p>	<p>東南アジアのある発展途上国...この国は近年著しい発展を遂げ、町の中心部には高層ビルが立ち並び、町並みには日本からの輸入製品があふれています。</p> <p>この村でも、かつては自分たちが食べる作物は自分たちで作っていました。昔は自給自足ができていたのです。しかし、穀物が世界的に重要な商品価値を持つようになった現在、国の政策などで、水田が輸出用の穀物を栽培する畑に作り替えられました。</p> <p>自分たちが食べる作物でなく、売って現金を得るための作物の栽培。このことによって、豊かになった人がある反面より貧しくなっていった人たちもいます。</p> <p>こうして作られた穀物が、国際経済のなかで輸出され、私たちが日頃食べている食べ物の原料となっているのです。</p>
<p>ある報道記者の話 ( アニメーション )</p>	<p>日本の新聞記者がエチオピアで実際に体験した話を原文のまま紹介します。</p> <p>---アフリカ飢えの構図より---</p>
<p>日本の食生活を支える基盤</p>	<p>資源のない日本が、世界にまれな繁栄をしたのは、食物、石油などさまざまな資源面で、世界の多くの国の力に依存しているということを忘れてはならないのです。</p>
<p>エピローグ</p>	<p>国連難民高等弁務官事務所 ( UNHCR ) 憲章 「すべての人は、食べて生きる権利を持つ。」</p> <p>国連 ILO宣言 「人間の進歩とは何か。それは地球上のすべての人間の最基本的需要(食)を公正に満たすことである。」</p>

# 道徳ビデオ資料 [ 森に生きる ]

指導案( ) 主題(ねらい) : [ 自然愛 ] 3 - (1)

## 【展開例 (1)】

		展開の大要(発問)	指導上の留意点
導入	雰囲気作り	豊かな森林の写真を提示し、感想を問う。 この写真を見て何を感じますか。	森林のイメージを与える。
		ビデオを見る(約15分)	事前に見ていても、教師も生徒と共に視聴する。
展開	感じる	「森に生きる」を見ての感想を発表し合う。 今のビデオを見て、最も印象に残ったことを発表して下さい。	生徒が感じたままを発表させる。 その中から次の発問につなげる。
	考える	タイや日本の森林破壊の現状と、日本の保護運動との両面から、現代の問題点を考える。 タイのワンヤイ村の人々の話を聞いてどんなことを考えましたか。 日本の白神ブナ原生林を守る人々や、植樹祭に参加する人々の姿から、どんなことを学びましたか。	乱伐の結果、豊かな自然が失われたことの恐ろしさに気づかせる。 生活の向上を目指したはずが、逆に生活が苦しくなってしまった人々の気持ちをとらえさせる。 人間が自然を破壊することもあるが、「自然を愛する心」をもてるのも人間であることを考えさせる。
	深める	森林保護の意味を考える。 「森を守る」とはどういうことでしょうか。	「自然は、ただ放置するだけではだめで、人の手力功口えられて初めて緑が保たれる。」とどういうことかを考えさせる。
	終末	自分のものにする 自分自身の生き方について考える。 私たちは森を守る為にどうしたら良いでしょう。 自分の問題として、まず自分でできること、これからしようと思うことを考えて書いてみましょう。  考えたことを心の中で反すうする。	まず身近なところから、自分が心がけることを考えさせる。また同時に、真に環境を守るためには、地球規模で考えねばならないことへと発展させる。

参考として、次の書物または詩を紹介してもよい。

『TREE』CWニコル著 竹内和世訳、宮崎 駿絵(徳間書店)

「空に小鳥がいなくなった日」谷川俊太郎詩集より

## 指導案の時間配分参考例

	基本展開	パターン	パターン
導入	5分	5分	5分
映像	20分	20分	20分
感想の発表	10分	15分	10分
発問	8分		8分
発問	7分		
考えをまとめる		10分	7分

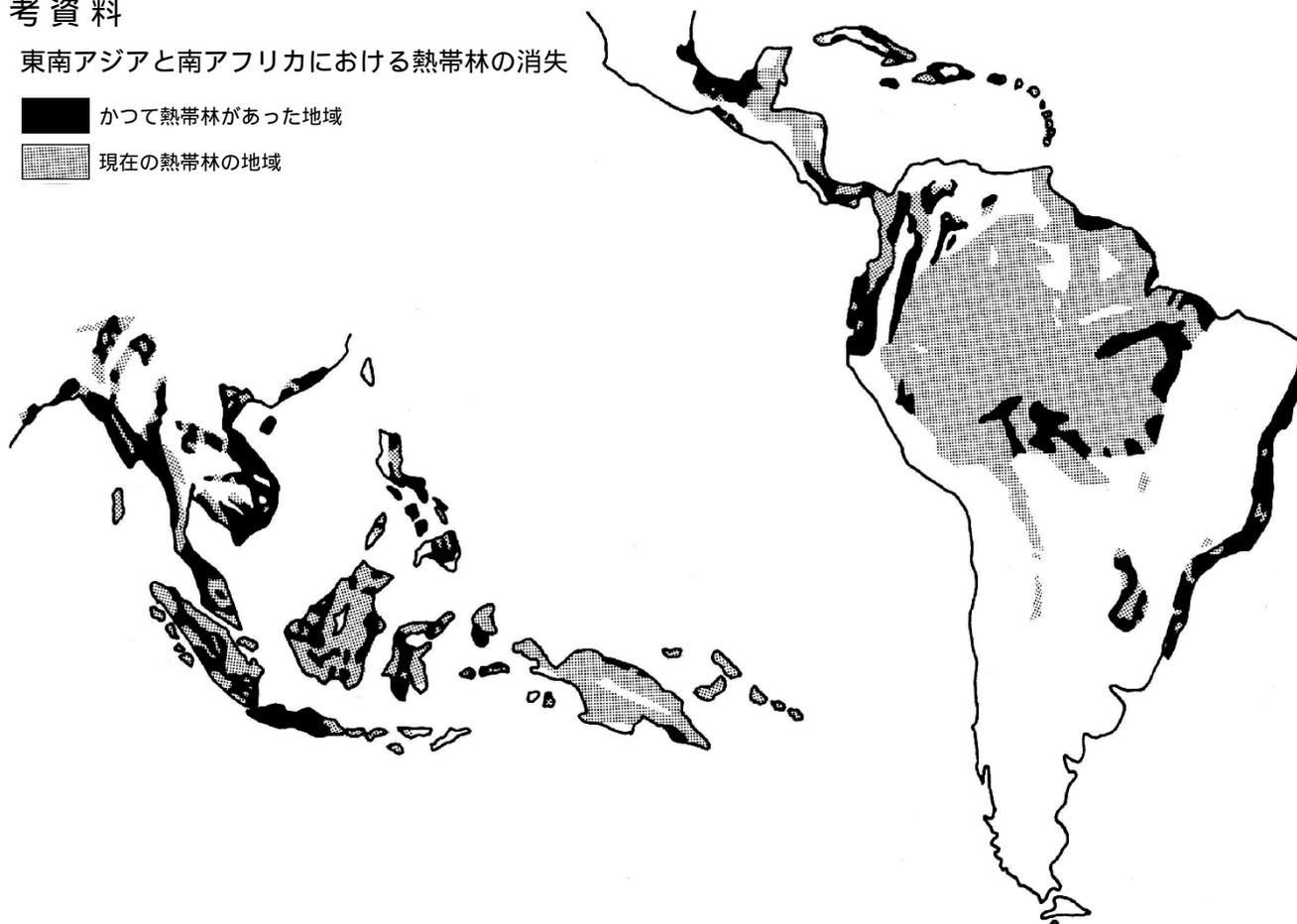
## 2時間計画の授業展開（1～2週間のインターバル）

1 時間目		資料準備	2 時間目	
導入	5分	生徒の感想文を、価値観によっていくつかのグループに分け、2時間目の資料とする。代表的な価値観のものを1ページ程度にまとめ次の授業で配る。	再現プリントまたは映像	5分
映像	20分		生徒の感想文を読む	10分
感想の発表	10分		発問・発問	20分
考えをまとめる	15分		考えをまとめる	15分

## 参考資料

東南アジアと南アフリカにおける熱帯林の消失

- かつて熱帯林があった地域
- 現在の熱帯林の地域



# 「森に生きる」再現プリント

[ 画 面 ]	[ 解 説 ]
<p>プロローグ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採される森、そして美しく生い茂る森</li> <li>・インタビュー</li> </ul>	<p>この地球上から毎年日本国土のおよそ半分の面積の熱帯林が姿を消しています。私たちは今、この森林を見直し、考え直す時期を迎えています。森林と聞いてあなたは何を連想しますか？</p> <p>「酸性雨など環境の問題、熱帯林の伐採、森林資源の無駄使いをやめるべきでは 」</p>
<p>森の働き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林、そして木材の山</li> </ul>	<p>森林は大気や水の循環を保つと同時に、豊かな木材資源を生み出しています。</p>
<p>熱帯林の伐採 ボルネオ島のジャングル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯林減少の国連データ</li> </ul>	<p>世界最大の熱帯林供給国であるマレーシア、ボルネオ島。そしてその最大の輸入国が日本です。従来熱帯林は焼き畑農業などで開墾されてはいましたが、近年商業木材の大量伐採が始まって以来、急速に減少の速度を速めました。国連（FAO）のデータによると、この10年の間に1億7000万ヘクタール（1秒間に東京ドーム1個分）の熱帯林が消失しました。</p>
<p>タイの山村とジャングル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木がなくなった山</li> <li>・農民の話</li> </ul>	<p>タイでは、国土の60%から20%に森林面積が減りました。森林の消失は気象の変化を招き（雨がほとんど降らなくなった）作物の栽培もままならなくなってしまいました。そして、いったん失った森は一朝一夕には取り戻せないのです。</p>
<p>日本の木材事情</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の風景</li> <li>・森林で働く人</li> <li>・木が倒れ、荒れた森林</li> </ul>	<p>日本は、大量の木材や紙の消費国であるという事、また国内の木材の値段が高く、外国から安くて質の良い木材が手に入るなどの理由で、世界最大の木材輸入国となっています。国土の67%を森林が占める日本、しかし、林業の衰退で山村で働く人が減り、森林の荒廃も問題になってきています。そしてその事は、土砂崩れなどの災害にもつながる危険性を秘めているのです。</p>
<p>白神ブナ原生林</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しく広がるブナの森</li> <li>・ブナを使った産業と、そこで働く村の人々</li> <li>・村の人の話</li> <li>・ブナの植樹祭</li> </ul>	<p>青森と秋田の県境にまたがる白神ブナ原生林、かつては東日本の大半を覆っていたブナ林も、杉などの人工林に植え替えられるなどして、ほとんどその姿を消してきました。しかし、自然環境を考えた時、ブナの原生林の果たす役割は大きいのです。ブナの活用法を広げ、ブナを守りつつ生活をしていこうと努力する地元の人達は、ブナ林と人間との上手な共存について語ってくれました。また、地元の人達の呼び掛けで催された植樹祭には、都会からも多くの参加者がありました。</p>
<p>エピローグ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の大量消費</li> <li>・排気ガスでぼろぼろになった街路樹</li> <li>・美しい森の姿</li> </ul>	<p>かけがえのない森林を守る事、それは人間の大切な務めです。そしてそれは山村に住む人達だけの問題ではないのです。森林先進国といわれる日本、しかし、輸入材にばかり頼り、国内の山で働く人が減って山が荒れていくなど、解決すべき問題も多いのです。私たちは木から作られる製品を、あまりにも無神経に消費してはいないでしょうか。また、身近な木をいたわる気持ちも失ってはいないでしょうか。私たちは今、木や森林の役割を見直し、森と共に生きてきたという事を自覚し、考えるべき時期を迎えているのではないのでしょうか。</p>

# 指導案と展開例

## 指導のポイント

南腕を失った大野さんが、チャレンジ精神をもって生きていけるエネルギー源は、自分の中に、まだ周りの人に喜んでもらえるものがあることを発見したことだった。「みんなが喜ぶこと」をするためには、自分のよさ（個性）を発見し、それを高める努力が不可欠である。強い意志をもち、目標を目指して前向きに生きようとする心が、自分自身を高めると同時に、身近な人や社会に喜びを与えるのだということに気づかせたい。

## 【展開例】

		主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入	雰囲気作り	大野さんの写真を見せる。（大野さんのビデオのジャケット、もしくは著書の写真等） 「この人はなにをしている人だと思いますか。」そして、 「今日は熊本県に住んでいる大野勝彦さんを紹介しします。ビデオを見て下さい。」等、簡潔に紹介する。	義手の写真を見て、いろいろな意見が出てくると思うが、大野さんの紹介は最小限にする。ビデオを見たときの新鮮な驚きを損なわないよう、教師は事前に多くを語らないようにする。 ビデオを見ることで味わう『衝撃を伴った感動』は、授業が終わった後も実践意欲を持続させるために効果的である。
展開		ビデオを見る（約18分）	視聴中、中心場面での生徒の表情を観察し展開に生かす。
	考える	感想を発表する。（3～4人） 「大野さんのビデオを見た感想を発表して下さい。印象に残った場面や言葉、考えさせられたこと等を発表して下さい。」	教師の方から「すごいと思ったこと」とは言わない。「すごさ」は生徒たちからどんどん出てくると思われる。 生徒たちから出た「すごさ」を、「深める」ためのキーワードにする。
	深める	「みんなが、大野さんはすごいと思ったことを挙げて下さい。」 ・義手になっても絵を描いたり卓球や釣りに取り組む行動力のすごさ ・義手になっても精神的に強く生きられること 「みんなが挙げてくれた大野さんのすごさを支えてくれているものは何だろう。」 ・大野さん自身のチャレンジ精神 ・義手を作ってくれた人 ・家族、等々 「大野さんのあの笑顔は、大野さんのどんなところから生まれてきたんだろう。」 ・大野さんのプラス思考とチャレンジ精神などが、生徒の言葉で発表されると予想される 「チャレンジするエネルギーは、どうしたらもてるんでしょうね。」 ・希望をもつこと ・最後まであきらめないこと 「希望をもったりあきらめなかったりする心を支えるのは何だろう。」 「大野さんの自画像にこんなことが描いてありましたね。」 『やっぱ笑顔がいいなあ』 『みんなの喜ぶことがしたいな』 「卓球をしながら大野さんはこんな事を言っていましたね。」 『事故に遭った時猛烈に生きたいと思った。この人生を一生懸命生きよう、そして、自分のそばにいる大切な人達の喜ぶことがやれたらいいなと思った。友達とか家族とかが喜ぶことをやって、みんながにこにこしていけたらいいな。』	発表された意見を坂書する。  両腕を失った大野さんの人生の再出発を支えたのは何であったのか、大野さん自身の強さもさることながら、周囲に支えられる人たちがいたことに気づかせたい。  ビデオの最後のナレーションを振り返る。  大野さんは病院で周りの人に絵を描いてあげたところ喜んでもらったことをきっかけに、本格的に絵を描き始めるようになったという。 人は、自分が人にしてあげられることがあるとわかった時に、自分の新しいよさが発見でき、前向きに生きていこうとする心が強くなって、たくましい生き方が可能になる。 自分がみんなにしてあげられるものは何かを考えさせたい。  <評価> 新しい自己発見をし、それを生かそうとする意欲をもつことができたか。
終末		「今日の学習で、大野さんとの出会いで感じたり考えたりしたことを書いて下さい。」	<評価> 自分の良さを発見し、それを高めることで、自分自身ばかりでなく、身近な人や社会に貢献できる生き方を考え実践しようとする気持がもてたか。

# 指導案と展開例

## 指導のポイント

本ビデオを使った授業のねらいとしては、主として、主人公大野さんの生き方の中に現れている『何でもやりとげようとするチャレンジ精神と強い意志の力』、そして『大きな災難に遭いながらも明るく前向きに生きていこうとする人間としての強さ』等が想定されます。ここでは、最初から教師の立場でどちらかに決めるのではなく、生徒たちの感想の中から、特に印象の強いものを選ぶ（即ち生徒自身に課題を選定させる）という手法による授業の展開例を紹介します。

なお、この場合、課題の選択とその掘り下げをそれぞれじっくりと行うためには、最初の1時間をビデオの視聴と課題の選定に、2時間目を選定した課題について深く追求する時間として使うという、2時間扱いの授業が望ましいかと思われます。

### 第1時間目

導入	ビデオ視聴のための雰囲気を作る。（ただし余計な先入観をもたせないように留意する。） 今日は九州に住んでいる大野勝彦さんという人のビデオを見ましょう。
展開	ビデオを視聴する。（約19分） ビデオを見ての感想を発表させる。 このビデオを見て印象に残ったことや感じたことを発表して下さい。（意見を板書していく。） 発表された意見や感想を、『意志の強さ』や『人間の崇高さ』『命の尊さ』等、内容別に分類する。 みんなの意見や感想を、グループ別に分類してみよう。（分類の仕方も、できるだけ生徒の意見を尊重する。例えば、最初から『意志の強さ』などの言葉で括ってしまうことによって、必要以上の方向づけをしないように留意する。）

### 第2時間目

導入	<p>前回の授業を振り返る。（思い出すために、何人かに主な内容を話させると効果的。） 前回は、両腕のない大野さんについてのビデオを見ましたが、印象に残っている場面や内容、大野さんの話などを発表して下さい。 前回生徒たちが選定した課題を坂書する。 今日は、みなさんが前回の授業の時にビデオを見て選んだテーマについて話し合います。</p> <p>（以下、授業展開例として、「意志の強さやチャレンジ精神について」を選んだ場合＝『展開例 』と、「前向きな生き方、人間の強さ、崇高さ」を選んだ場合＝『展開例 』の二例を示します。</p>	
展開例	展開の概要	指導上の留意点
	<p>ビデオに出てきた大野さんの生き方を振り返り、そのチャレンジ精神や何でもやり抜く意志の強さについて考える。 大野さんは、なぜあきらめずにチャレンジし続けることができるのでしょうか。</p> <p>自分自身の経験とも照らし合わせさせる。 みなさんはこれまで自分自身の意志の強さを感じた経験がありますか。それはどんな時ですか。</p> <p>自分自身の、今後の生き方に取り入れることは何かを考えさせる。 みなさんがこれから生きていく上で、大野さんの力強い生き方から何か取り入れたいことや学んだこと、それに励まされたことはありますか。</p>	<p>やりとげるまであきらめないという大野さんの意志の強さが現れた出来事を振り返らせる。</p> <p>『意志』という抽象的な概念を具体的かつ身近な事柄の中で考えさせる。</p> <p>他人事に終わらせず、自分の人生にプラスになることは何かを具体的に考えさせる。</p>
展開例	展開の概要	指導上の留意点
	<p>大野さんの明るさの根源にある人間としての強さに気づかせる。 大野さんは、両腕を失うという大事故にあったのだけれど、なぜあのように笑顔でいられるのだろう。</p> <p>大野さんの強さを認めた上で、大野さんだけが強いわけではないということを考えさせる。 ところで大野さんって本当にすごいんですか。大野さんだけが飛び抜けてすごい人なんですか。ただ負けず嫌いなだけじゃないんですか。 皆さんはどうですか。皆さんも、『負けたくない』とか『同情されたり、馬鹿にされたくない』と思って頑張ったことがあるんじゃないんですか。自分が頑張ったことを教えて下さい。</p>	<p>両腕は失ったけれど、命が助かったことに、心から感謝している大野さんの心の持ち方についても考えさせたい。</p> <p>大野さんのすごさに感心している生徒たちに、『実は自分たちにも、同じ人間としての強さがあるんだよ』『大野さんだけが特別な人ではないんだよ』ということに気づかせる発問。 自分にも、ビデオで見た大野さんと同じように、人間としての強さ、気高さがあるということに気づかせたい。</p>

## 作品の構成

画面の展開	主な内容
・畑を歩く大野さん 義手のアップ	義手でさっそうと歩く大野さん、力強く明るい表情。
・大野さんの自宅、アトリエを訪問	大野さんの紹介（なぜ腕を失ったのか、今何をしているのか、等）。
・義手で絵を描く大野さんとその作品	大野さんに自画像の制作を依頼。 初めての自画像に戸惑いながらも、絵筆を走らせる大野さん。
・早朝、自動車の運転席に乗り込み、釣りに出かけた大野さん	自画像制作に苦戦する大野さん、気分転換に息子さんと釣りに出かけます。 運転も自分でこなし、磯に着くと、早速釣竿の仕掛けに取り組みます。 昔から大好きだった釣りをやりたい一心でリハビリに励んでいた大野さん、針に糸を通したり、餌をつけたり、リールを巻いたり、等といった細かい作業を、人並み以上にこなしていきます。
・リハビリの病院の先生と義手製作所の技師へのインタビュー	大野さんの明るさと前向きな姿勢が、周囲の人達も巻き込んで、さまざまなチャレンジへと向かっていきます。
・卓球をする大野さん	今度は卓球用の義手を使い、近所の中学生たちと卓球で汗を流しています。
・アトリエで自画像を仕上げる大野さん	ようやく完成した自画像、大野さんの明るい笑顔と、彼を支える家族たち。

## 内容項目との関連

このビデオ資料は、主として、中学校学習指導要領の内容項目 1 - (2)「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつようにする。」との関連において活用することができます。（小学校学習指導要領、高学年の 1 - (2)、中学年の 1 - (3)にも関連）

・この作品の中で、主人公の大野勝彦さんは、両腕切断という大きな事故に遭いながらも、絶望したり投げやりになったりせず、いつも笑顔を絶やさず、前向きに生きています。  
大野さんは、釣りや卓球、車の運転など、困難な目標に挑戦し、それを次々にクリアしていきます。そこには、「やればできるんだ、絶対にやり抜くんだ。」という強い意志の力を感じとることができます。そしてそれをやり遂げたときの大野さんの明るい笑顔 …。  
大野さんは確かに強くてたくましい人です。でも、家族から見ると、欠点もある普通のお父さんなのです。  
大野さんの『強さ』は、私たちの誰もが潜在的にもっている人間の普遍的な強さなのであり、あとほんの少し希望と勇気、そして意志の力をもつことで、誰もが身に付けることができる強さなのだということに気付かせることのできる作品構成になっています。

また、別の視点として、中学校学習指導要領の内容項目 2 - (2)「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し感謝と思いやりの心をもつようにする。」（小学校学習指導要領高学年の 2 - (5)との関連や、視点 3 - (2)の生命の尊さを理解し尊重する）ことを学ぶための資料としても活用することができます。

# 指導案と展開例

## 指導のポイント

プロレスラーのアジャコングや空手道場の子供たちのいじめ体験を通して、人それぞれにものの見方や考え方が異なることを知り、それを率直に認めるとともに、いじめをなくし、望ましい人間関係を築くことを目指して、それぞれの個性や立場を尊重しながら生活しようとする態度を育てる。

## 【展開例】

		展開の概要	指導上の留意点
導入		これから見るビデオ資料を簡単に紹介する。 今日はプロレスラーのアジャコングという人のビデオを見ましょう。	ビデオの視聴についての興味をもたせつつも、ビデオの内容について、余計な先入観を与えないように留意する。
展開		ビデオを見る（約18分）	教師もいっしょに視聴する。
	感じる	ビデオ資料「いじめすんなよ！」を見ての感想を発表し合う。 このビデオを見て、最も印象に残ったことについて発表して下さい。	ビデオに出てきたいじめの話について、さまざまな意見や感想が発表されると思われるが、この時点での方向づけや、必要以上のコメントは避ける。
	考える	アジャコングや空手道場の子供たちのいじめ体験について考える。 どうしていじめられたのだろうか。そして、そのことについてどう考えますか。 同じ人間なのに、どうして同じ仲間として受け入れられないのだろうか。	ビデオに出てくるさまざまないじめの事例について取り上げ、なぜ人をいじめてしまうのか、なぜいじめられてしまうのか、その原因について具体的に考えてみる。 特に、人との違いを個性として尊重せず、いじめの原因としてしまう心の弱さについて考えさせたい。
	深める	いじめをする人の心の内や本音を探る。 いじめは、どんな気持ちや考えから起こるのだろうか。 いじめられた人の気持ちを考えてみよう。	ビデオの内容にこだわらず、自分自身のことや、（それが難しければ）広く一般的な問題として、いじめの根本原因やいじめ側の問題について深く考えさせたい。
終末	自分のものにする	いじめを乗り越えていく生き方に迫る。 どうすれば、いじめを（いじめをした人もされた人も）乗り越えることができるのだろうか。 どういう気持ちや考え方が大切なのだろうか。 自分自身の問題として考えてみよう。	学級の中には、かつていじめの当事者であったり、今現在渦中にいたりする生徒も多いと思われるが、話し合いを通して自分自身の姿を客観視することにより、いじめの問題を乗り越えるきっかけとしたい。 体験者もそうでない生徒も、これからのことを前向きに見つめ、よりよい生き方をするにはどうすればよいのかということについて考えさせたい。

# 指導案と展開例

## 指導のポイント

「いじめられない強い自分になるためにはどうしたらよいか。」そのためには、内面的な心の強さが必要である。では心の強さはどのようにつくりあげていくのだろうか。強い心・たくましく生きる力は、自らの努力で自分でつくりあげるほかない。自分自身どうしたらよいか、今自分はなにができるかをさえさせたい。それと同時に、いじめる側にもっと重要な問題があること、すなわち、他者の人格を大切にすることをもちょうと、相手の個性や立場を尊重することの大切さに気づかせたい。

このビデオの中で、アジャコングは、自らのいじめられ体験を通して、また、それを克服するために習った空手の鍛錬を通して、辛いことに耐え抜く力、強くたくましい体、そして相手の痛みがわかる優しい心と、目的を持って何かをやりとげようとする強い心を身につけたということを生徒に認識させたい。

## 【展開例】

		主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導 入	雰囲気作り	「女子プロレスを知っていますか。」 「知っている選手を挙げて下さい。」 アジャコングの写真を見せる。 「どんな選手だと思う？」 「今日はこのアジャコングさんのビデオを見てみましょう。」	強そう、怖そう、乱暴しそう、等、テレビで作られた先入観もあっている意見が出ると思われるが、教師の考えで方向づけしないようにする。 プロレスの雑誌等から写真を準備しておき黒板に貼る。なお、タイトルの「いじめすんなよ」は、伏せておいた方がよい。
展 開		ビデオを見る（約18分）	視聴中の生徒の表情を観察し展開に生かす。
	考える	感想を発表する。（3～4人） 「ビデオを見た感想を発表して下さい。また、人の発表を聞きながら、自分の考えと共通しているところや違うところを見つけ、自分の考えと比べてみて下さい。」	生徒の感想の要点をまとめて板書し、生徒主体に「深める」展開にする。
	深める	「アジャが空手を習い始めた時、何を身につけたかったのだと思いますか。」 ・いじめに負けないための強さと力 「アジャがいじめられて空手を習ったことについてどう思いますか。」 ・いじめに対して力で対抗しようというのはいかがでしょうか。 ・いじめで追いつめられていたのだから力で対抗して当然。 ・自分で何とかしようと思ったのだから偉い。 (『力には力』という動機は不純であるという意見と、逆にその行動力を評価したり、自己防衛のためだからしょうがないという意見とに分かれたりすると思われる。) 「アジャはどのようにしていじめを克服したのだと思いますか。」 ・空手で鍛えていじめる相手をやり返した。 ・いじめてくるやつらを相手にしなかった。 ・とにかくじっと耐えた。 ・空手をやって体だけでなく心も鍛えられたから耐えられたのかも知れない。 (体の強さから次第に心の強さを指摘する意見が出てくるものと思われる。) (上記の発問で『心の強さ』に話が進んだのを受けて) 「アジャの心の強さって一体なんだろう。」  強さの中にやさしい思いやりがあり、人の痛みがわかること 自分の生活の中に目的意識をもてること 5年後、10年後、後ろめたさが残らないように生きられること  (以上のことが、自分をいじめた人達へのメッセージや、空手道場でのアジャと子供達の話し合いの中から感じとることができると思われる。)	生徒の感想の発表に、アジャが空手を習った動機に関するものが出てきたら、それを生かして「深める」展開につなげる。  いじめを克服するために、アジャやボクサーの辰吉丈一郎のように、格闘技で強くなるのが早道であると安直に考える生徒も多いと思われるのでこの点をはっきり押さえておきたい。と同時に、いじめられていたアジャの追いつめられた気持ちも理解させたい。  アジャの場合、体だけでなく心の強さがあったことに気づかせたい。 そして、『心の強さ』はどうすれば身につけることができるのかについても考えさせたい。また、いじめをしてしまうのは、結局は心の弱さが原因なのだからということもアジャの言葉から感じとることができる。  いじめられた経験をもつアジャには、弱者を思いやる真のやさしさが感じられることに気づかせたい。 目的意識をもって何かをやりとげることの喜びを体験することが、人を強くすることに気づかせたい。 逆に『いじめをしたこと』が将来も後ろめたさを引きずり、卑屈な生き方をしなければならぬことにも気づかせたい。 いじめる側にもっと大きな問題があることを明確にしたい。 (人格を傷つけることを平気でする、相手の立場を認めない、人を人とも思わないことなど、人間として一番いけないことである。)
終 末		今日の学習で考えた「強い心」は、自分自身の中ではどんな状態であるかを見つめ直し、これからどんなふうに成長していきたいかを考えてみよう。	文章として書き残し、「強い心」を自分の心の中で育てるために必要なことは何かを考え、実践できる具体的な手立てを自分自身でもてるようにする。

## 作品の構成

画面の展開	主な内容
・女子プロレスラー、アジャコングの紹介	リング上の活躍。 練習場で新人の指導をするアジャ。
・小学校時代の写真	涙血で色が黒かったこと、髪の毛のしたことなどの理由で、いじめられていたという話し。
・以前通っていた空手道場を訪問するアジャ	当時の師範や同級生たちの証言。 「やはりいじめられていたようだ」
・道場に通う子供たちと語り合うアジャ	何故、そしてどんないじめを受けていたのか、自分の体験を話すアジャ。 そして子供たちへの問いかけ 「どんないじめがあるの？」 「いじめを受けたことや見たことはある？」 「先生に相談しないの？」 等々。 アジャ自身はどうやっていじめを克服してきたのか。
・試合会場へ向かうアジャ	以前いじめをした人達に、何か言いたいことはある？ 「5年後、10年後、苦しむのはどっちかな？」
・再びリング上のアジャ	いじている子、いじめられている子へのメッセージ。

## 内容項目との関連

このビデオ資料は、主として、中学校学習指導要領の内容項目2-(5)「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの方や考え方があることを理解して、謙虚に他に学ぶ広い心をもつようにする。」との関連において活用することができます。(小学校学習指導要領、高学年2-(4)、中学年2-(3)にも関連)

・この作品の中で、女子プロレスラー＝アジャコングが、少女時代に、混血で肌の色が黒く、体が大きかったからという理由でいじめられたという話が出てきます。  
アジャの場合のいじめの根源には、このような身体的な特徴の外に、父親が黒人兵であったこと、しかも父親が帰国し父無し子であったことなど、さらに複雑な理由がありました。子供だけでなく、親たちのもっている偏見や差別感の投影とも言えるかもしれません。  
では、今のいじめはどのようなのでしょうか。子供たちへのインタビューの中に、やはり体型的特徴をもった子がいじめられやすいという話が出てきました。「みんなと違うところのある子がいじめの対象になりやすい。」これは昔も今も変わらないのかもしれませんが。  
しかし一方で「理由は良くわからないのにいじめられた。」という話もありました。いじめられる側も気付かぬようなほんの些細な出来事をきっかけに、いじめる側の勝手な理由でいじめられてしまうケースも多いのかもしれませんが。  
いずれにしても、自分と違うから、自分の気に沿わないから、などといった、相手のことを考えぬ身勝手さがいじめを生む大きな原因の一つになっているようです。  
アジャはいじめの原因でもあった「体の大きさ」を活かし、プロレスラーになりました。このように、人との違いは、立派な個性でもあるのです。  
相手の個性や特徴は、その人の素晴らしさであるということを理解し、それを尊重する謙虚な心があれば、決していじめなど起きないはずなのです。  
アジャや子供たちの話をきっかけに、そのようなことをクラスで話し合ってみてはどうでしょうか。

また、別の視点として、アジャが何故いじめを克服できたかを中心に考えると、中学校学習指導要領の内容項目1-(5)「自らを振り返り自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を求めるようにする。」との関連においても活用することができます。

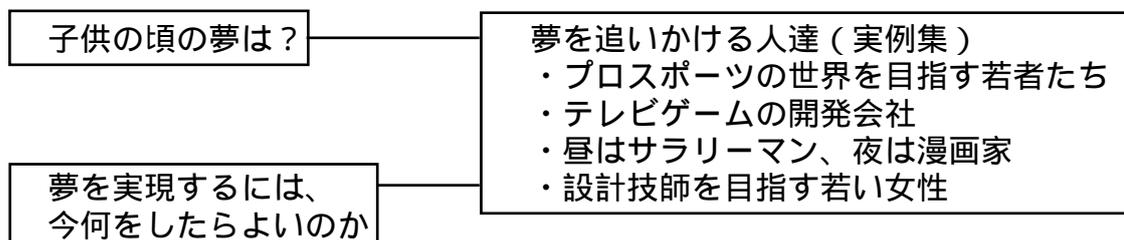
# 第1巻「生き方と進路」（指導の手引き）

**主な内容** プロサッカー選手を目指す少年達や、ゲーム開発に取り組む若者等、自分の夢や目標を持ち、その実現にむけて努力している人達の生き様を見つめ、充実した生き方とは何かを考える。また、夢や目標について考えながら、今自分たちが何をすべきなのかを問う。

**使用例**

- ・第1学年の最初の進路指導の時間に、導入として使用。  
いろいろな人達の夢と、それを実現していこうとする姿を通して、夢をもつことの大切さを感じさせる。その上で、自分自身の夢について問いかけることにより、進路学習、ひいては学校生活で何を学んだら良いのかを考えさせ、学ぶことへの動機付けを行うこともできる。  
また、今この年代が将来にわたっての自分の人生を決める、非常に重要な時期であるという自覚をもたせるための資料ともなる。
- ・第2学年、第3学年では、「自分の適正と進路について」や「自分の進路の選択」等、自分自身の進路選択に関わる、より具体的な問題と関わらせながら試聴させると一層効果的である。
- ・PTAの会合で。  
子供の夢の育て方について考える。  
塾に通う子供たちの言葉や、サッカーと勉強との両立を考える少年たちの言葉等、多くのテーマが含まれている。

## 作品の展開



## 指導のポイント

自分たちの子供の頃の夢を振り返ってみる ・成長するにつれてどのように変わってきただろう ・何故変わってしまったのだろう
自分の将来について、今どんな夢を持っているだろう ・どんな仕事をしたいか ・どんな生き方をしたいか
自分の夢を実現するためにはどうしたらよいだろう ・夢を実現するために何かしている事はあるか
夢と目標について考えよう ・単なる夢と具体的な目標の違いとは ・夢はどうしたら目標に変わるのか

# 第1巻「生き方と進路」を見て

年	組	名前	
---	---	----	--

(1) あなたは小さいころどんな夢を持っていましたか。

(2) 今あなたは将来に対してどんな夢を持っていますか。

(3) 夢や目標を追いかけている人たちを見て、感じたことや考えたことはありますか。

(4) あなたは、自分の夢を実現するためにどんなことをすれば良いと思いますか。  
また、そのために今何か実行していることはありますか。

## 第2巻「やりとげる」(指導の手引き)

### 主な内容

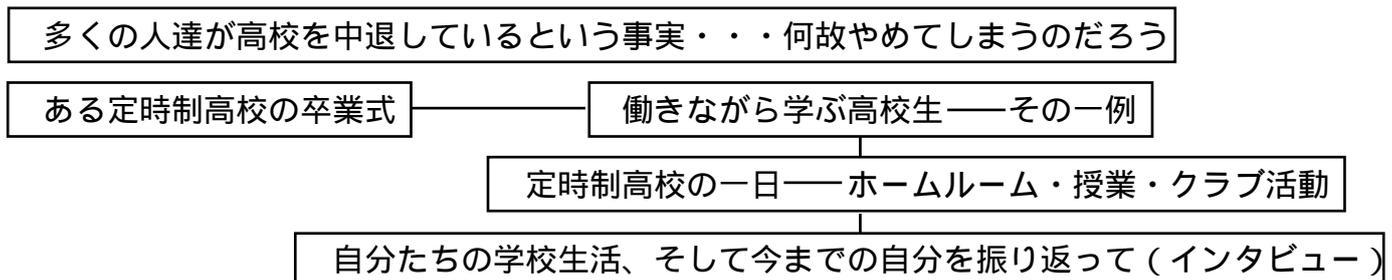
今、大半の学生たちが当たり前のように高校に進学する。しかし、進学してから悩む生徒たちも数多い。

ある定時制高校の卒業式。卒業生の多くは、これまで何度かの挫折を経験している。いろいろな悩みや壁にぶつかりながらも、自分たちなりの小さな目標を見つけ、高校生活を全うした彼らの言葉は、多くの示唆を含んでいる。

### 使用例

- ・第2学年や第3学年で「学ぶためのいろいろな制度や機会」、もしくは「進路選択の際の悩み」などを授業の題材とする時の資料として活用できる。その際、定時制の話に限定せず、高校とは何か、進学するとはどういうことかというテーマで話し合うきっかけにすることもできる。
- ・「道徳授業」の資料として、自分で決めたことをやり抜くことの意味について考える。また、真の友情について考える素材ともなる。
- ・PTAの会合等で、様々な高校生活について、保護者にも十分認識をもってもらう必要がある。また、学校選択について話し合うきっかけにも。

### 作品の展開



### 指導のポイント

上級学校について ・どんな種類の学校があるだろう――自分たちで調べてみよう
高校中退の問題について考える ・なぜ中退してしまう人がいるのだろう
定時制高校を卒業していく人達の言葉を聞いて何を感じ、何を考えたか ・目標、目的を持つことの意味について ・友人の大切さについて
自分たちの進路はどうやって決めれば良いのだろう ・自分たちは進学先(就職先)について、どのように考えているか ・どうすれば充実した毎日が過ごせるだろう

## 第2巻「やりとげる」を見て

年	組	名前	
---	---	----	--

(1) なぜ高校を途中でやめてしまう人がいるのだろう。

(2) 定時制高校を卒業していく人達の言葉を聞いて、感じたことや考えたことはありますか。

(3) あなたは今まで何か目標を持ってそれをやりとげようと努力したことはありますか。また、あるとすれば、それはどんなことですか。

(4) あなたは、毎日を充実させるために、今どんなことをしていますか。

# 第3巻「明日へのパスポート」(指導の手引き)

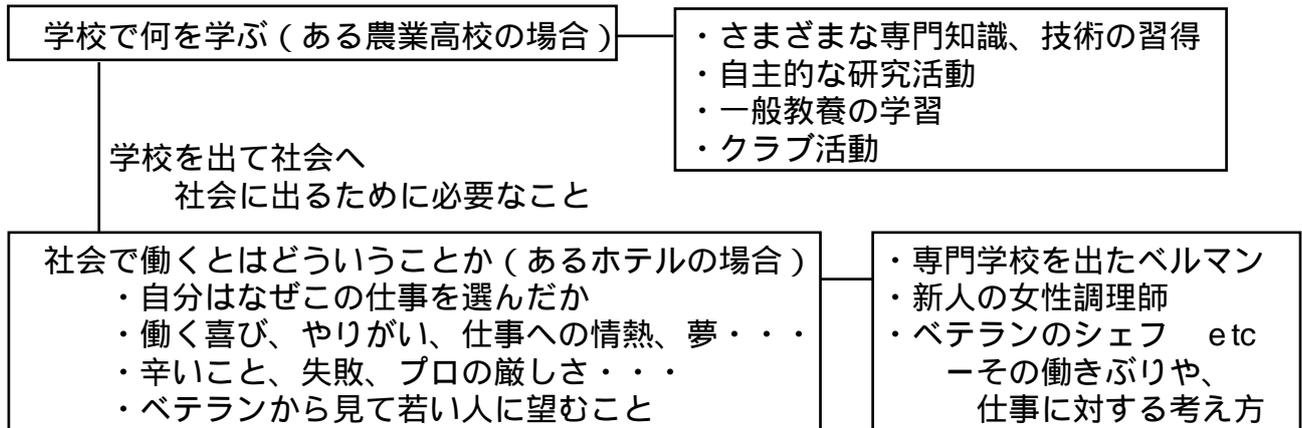
## 主な内容

学校とは、何を、何の為に学ぶ場なのか、そして社会に出て働くとはどういうことなのか、学校と社会をひとつの軸の元に捉えながら考える。また、学ぶ人や働く人達の喜びや目的、夢ややりがい、辛さ等を、日々の姿と生の声を通して映し出す。

## 使用例

- ・第1学年や第2学年で「働く人々の姿」や「働くことと学ぶことの意義と目的」などを授業の題材にする時の資料として活用できる。働くことの喜びや意義が、職場のシーンで色々と語られるが、更にそれを学校で学ぶことの意義と絡めて考えると一層効果的かもしれない。
- ・「体験学習」と関連させて  
職場訪問や上級学校訪問を行う学校が増えている。直接体験で得られた知識や印象を、更に深め、そして広がりを持たせるために、体験学習の前後に、客観的な映像資料による学習を行うことは大変効果的である。
- ・「道徳授業」の資料として  
働いている人の姿を通して、勤労の意義と喜びを感じさせることができる。

## 作品の展開



## 指導のポイント

学校では何を、何のために学ぶのだろう ・学校では何を学ぶのだろう、また、今いろいろなことを学ぶのは何のためだろう ・どんな学校でどんなことを学べるのだろう
どんな仕事があるだろう ・仕事の種類やその内容、どうやったらなれるか等を調べてみよう
働くことについて ・なぜ働くのだろう・・・生活のため？ 社会への貢献？ ・働くことと学ぶこと、社会に出るために学ぶ？

## 第3巻「明日へのパスポート」を見て

年	組	名前	
---	---	----	--

(1) あなたが、今学校でいろいろなことを学ぶのは、何のためだと思いますか。

(2) あなたは、これからどんな学校でどんなことを学びたいと思っていますか。

(3) 仕事をしている人達の話の聞いたり、その仕事の様子を見て、何か感じたことや考えたことはありますか。

(4) 社会に出て働くのは何のためだと思いますか。

## 第4巻「ある生き方」（指導の手引き）

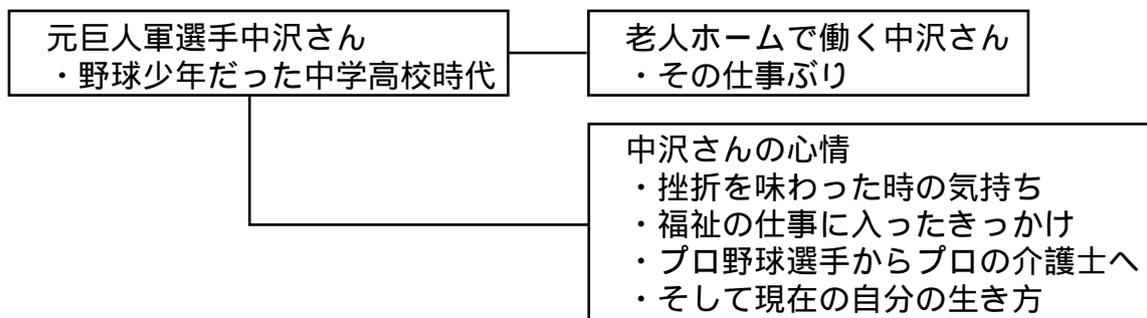
### 主な内容

元プロ野球の選手が、挫折から立ち直り、老人ホームの介護士として第二の人生をつかむまでを描くドキュメンタリー。プロを夢見た中学高校時代、プロ入りを果たしながらも挫折を味わった時の気持ち、第二の人生を見つけるまで、そして今の仕事について等、主人公の友人や奥さん等の話も絡めながら、その生き方、考え方を追いかける。色々な生き方に目を向けさせ、興味をもたせるのに最適な素材。

### 使用例

- ・第1学年や第2学年で「働く人々の姿」や「色々な職業」を題材にする時、あるいは、各学年の節目になる時期に、「生き方」について考える授業をする時の資料として活用できる。  
その際、主人公が介護士として働く場面に重点を置けば前者の授業となるし、主人公やその周囲の人達が、彼の生きてきた軌跡や考え方について語っているシーンにスポットを当てれば後者の授業となる。
- ・「道徳授業」の資料として。  
主人公が挫折を乗り越えて力強く生きていく姿から、強い意志の力について考える授業ができる。  
また、介護士として働く姿から、思いやりや人間愛について考える授業に用いる
- ・「個別指導」の資料として。  
今後注目されてくるであろう「職業としての老人介護」の実際が描かれており、それに関心をもつ生徒の資料となる。

### 作品の展開



### 指導のポイント

中沢さんにとって野球は何だったのだろうか ・生きがい？ 夢？
挫折した時の気持ち、そして第二の人生が始まるまでの気持ちはどんなだったろう
彼は何故介護の仕事を選んだのだろうか、そして今の気持ちは？
将来自分はどんな職業について、どんな生き方をしたい？

## 第4巻「ある生き方」を見て

年	組	名前	
---	---	----	--

- (1) 中沢さんにとって「野球」とは何だったのだろうか。
- (2) 巨人軍で挫折した時の気持ち、そして第二の人生が始まるまでの気持ちはどんなだったろう。
- (3) 中沢さんは、何故『老人介護』という仕事を選んだのだろうか。
- (4) あなたは将来どんな仕事をしたいと思っていますか。  
そして、どんな生き方をしたいですか。

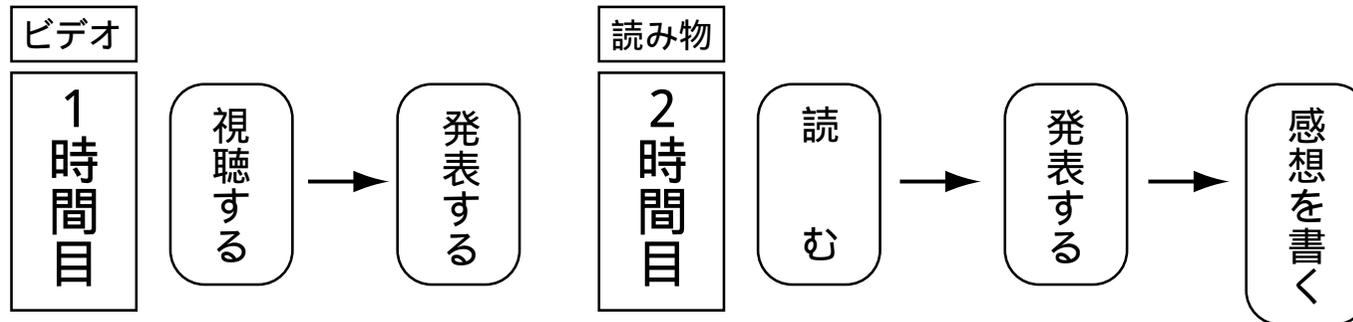
## <ビデオのあらすじ>

佐世保南高校の生徒会ではこれまで、ネパールの学校作りの資金にと空き缶や古切手などを集めるボランティア活動に取り組んできました。今年、大学生になった金子君は、こうした資金が実際に現地でどのように使われているのかを見てみたいと考え、今回ネパールを訪れたのです。このツアーを企画したのは、ネパールへの教育支援を20年間にわたりおこなってきた小澤先生です。小澤先生は教育支援について、単に教材などの物資を送るのではなく、足繁く現地に通り、現状の把握につとめ、現地の人と十分に話し合いをした上でアドバイスすることが必要だと考えています。金子君をはじめとする大学生も言葉は通じなくてもさまざまな方法で子供達と交流を図り、言葉では表せない何かを心のなかにつかんだようです。それは一体何か。日本にもどって金子君は高校の後輩達にこんなふうに語りはじめます。「ネパールへの支援は、例えば友達がシャープペンシルを忘れたら、貸してあげるようなものだと思う。ネパールの教育の現状がよくないから、友達として助けてあげることなんじゃないか。」現在も「友達に夢と教育を」の輪は着実に後輩達に受け継がれ、さらなる広がりを見せています。

## ビデオ資料 [ 空き缶が夢を広げる～国際交流とボランティア～ ]

\* 読み物資料 [ ボランティアって何だろう ]

### < 活用例 >



ネパールの「教育支援」にひたむきに取り組む登場人物の活動からボランティアとは何かを感じ取る。

お互いに感想を発表しあい、さまざまな感じ方があることを知る。

いくつかのボランティアのエピソードを取りあげ、ボランティアの本来の意味について考える。

設定したテーマについてお互いに意見を出し合い、ぶつけ合うことで自分の考えを深める。

ビデオと読み物で学んだことを整理し、自分の考えとからめて書き記す。

### < 発問例 >

ネパールへの国際交流を見て、最も印象に残ったことについて発表して下さい。

小澤先生にとっての「教育支援」とは、どのようなものでしょうか。

・モノを与えることだけが支援ではないと言っていましたね。

金子君にとっての国際交流とはどのようなものだったのでしょうか。

・シャープペンシルを友達に貸すようなものと言っていましたね。

### < 発問例 >

「ボランティア」という言葉から、みなさんはどのようなことを連想しますか。

日常生活の中で「自ら進んで他の人に関わりのあることをした経験はありますか。

筆者は「席をゆずる」という行為についてためらいを感じたと言います。

同じような状況の時、みなさんならどのように行動しますか。

筆者は「自ら進んでする」ことは少しの勇気が必要だと言っています。家庭でも学校でも、みなさんがすぐにできることについて考えてみましょう。

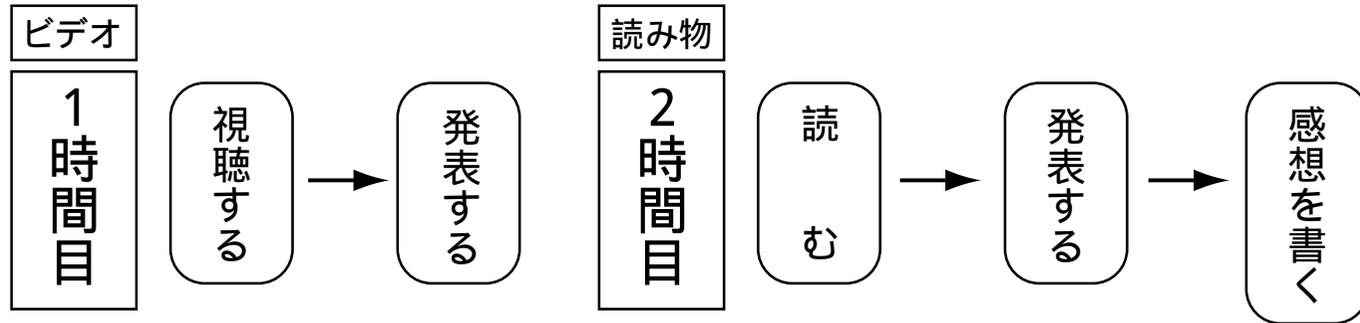
### < ビデオのあらすじ >

プロレスラー藤崎は、幼少のころから腎臓を患い、命さえ危ぶまれるほど虚弱体質だった。学校に行っても体育の授業は全て見学していたという。しかし、そうであったがゆえに「強くなりたい」という気持ちは人一倍強かったに違いない。中学に入ると空手をならいはじめ、大学ではプロレス研究部、そしてついにプロレスラーになるために九州から上京する。もちろんすぐにプロレスラーになれたわけではない。貧しい生活、リングにあげられない日々。さまざまな困難があった。しかし、そうした困難にもかかわらず、それをむしろ原動力としながらあきらめずに努力し続けた。そしてついにプロレスラーという夢を現実のものとしたのである。まさに「逆境に感謝」である。現在、プロレスラーの他にデザイナーという顔も持つ藤崎だが、自分にとってはこの両方ともが世の中に対しての「自己表現」の手段なのだという。藤崎は病気の後遺症と闘いながら今もリングに上がっている。藤崎にとって人生というリングに終わりはない。

# ビデオ資料 [ 夢をもって生きよう～あるプロレスラーの生き方～ ]

\* 読み物資料 [ 夢を現実に ]

< 活用例 >



プロレスラー藤崎さんの生い立ちや現在の姿をみて、人にはさまざまな生きがいや生き方があることを知る。

お互いに感想を発表しあい、生き方についてのさまざまな感じ方を知る。

藤崎さんがプロレスラーになるまでに何を考えて生きてきたのか、その心情や考え方に注意しながら読む。

設定したテーマについてお互いに意見を出し合い、ぶつけ合うことで自分の考えを深める。

ビデオと読み物で学んだことを整理し、自分の考えとからめて書き記す。

< 発問例 >

藤崎さんはなぜ、プロレスラーになろうと思ったのでしょうか。

藤崎さんはなぜ、プロレスラーになれたと思いますか。

- ・「逆境に感謝」とはどういうことでしょうか。藤崎さんがプロレスとデザインの仕事を両立しているのはなぜでしょう。
- ・「自己表現とはどういうことだと思いますか。

< 発問例 >

藤崎さんは自分の夢について「DREAM」ではなく、「VISION」だと言っています。

「VISION」とはどのようなことだと思いますか。藤崎さんのようなハンディキャップを背負った自分を想像してみましょう

藤崎さんもみんなも困難や挫折を克服すると言う点では同じはず。

これからそうした状況に直面したときにどのように行動しますか。

## 今、なぜ性教育が急務なのでしょう

高校3年生までに性交渉を経験する割合は男子で約4割、そのうち約半数がコンドームをせずに性交渉にいたっています。これが低年齢層の性感染症の蔓延を引き起こしているのです。性についての無知は、とり返しのつかない事態（例えば不妊症やHIV感染）すら起こしかねないのです。

## このビデオの特長

ここでは、私たち全てが知っておかなければならない、性の健康を守るために必要な正しい知識について取り上げます。また、それは男女の真の理解や愛情について考えるための土台ともなるのです。

## ビデオ資料 [性を考える～性の健康について～]

### <ビデオのあらすじ>

正しい知識を持たずに性交渉を行うと、望まない妊娠の他に性感染症にかかる危険性があります。日本ではクラミジア感染者が約200万人といわれていますが、特に15～25才の若い年代に多く見られます。そして、STD感染者がHIVに感染する割合は、一挙に高まるのです。エイズ患者の多いタイのホスピス取材しても、感染の原因の多くはごく普通の夫婦や恋人同士の性交渉です。性感染症は愛や信頼だけでは防ぐことはできません。何より正確な知識が必要なのです。

### <付録映像の取り扱いについて>

このビデオは、本編（約22分）と下記の5編の付録映像で構成されています。必ず事前にご視聴の上、必要に応じて適宜ご活用下さい。

性の悩み ～男子の包茎について～

包茎の正しい知識について解説しています。

性の悩み ～マスターベーション（オナニー）について～

マスターベーション（オナニー）に対する誤った認識を正します。

性の悩み ～女子の月経について～

月経のメカニズムなどを詳細に解説しています。

正しいコンドームの使用法

コンドームの使い方を誤ると、妊娠や性感染症の危険性があります。ここではコンドームの正しい使い方について解説を加えます。

エイズ検査について

HIVに感染していると不安に感じたら、保健所に行って検査を受ける必要があります。ここでは、保健所でのエイズ検査の受け方について説明します。

### <参考資料について>

小冊子 [若い人達の“性の健康”を守るために

財団法人 性の健康医学財団 編]

[いま、あなたに伝えたい～エイズ・STDのこと～

厚着病院泌尿器科医長 岩室紳也 著]

当社では、STDやエイズに関する最新のデータと情報を掲載した参考資料を2種類ご用意してあります。ご希望される方は当社までお問い合わせ下さい。\*資料は有料です。